

佐伯小学校だより

【夢に向かい 未来を拓く 児童の育成】

「挨拶いっぱい」
「力いっぱい」
「夢いっぱい」
令和3年度
7月号

～「毎日楽しい！明日もきっと良い日！」でありますように～



(6/14 テレビ会議システムによるプール開き)



(プールに水が張られました！)

雨上がりの木々の緑が、より美しく輝く季節となりました。今年もはや半年が過ぎ、1学期も終盤を迎えています。

佐伯小学校の全校児童75名が、コロナに負けることなく、友達と関わりながら、学びを積み重ね、確実に成長してくれていることをとても嬉しく思います。保護者の皆様、地域の皆様のお力添えに感謝申し上げます。

さて、6月初旬、学校医の渋藤先生とお話しする機会がありました。『梅雨時期の高温多湿の健康管理は難しく、特に気温の寒暖差が大きい日は「寝冷え」に注意すること』をご指導いただきました。また、「よく寝ること」「バランス良く食べること」「手洗い」等は、継続的に取り組んでいくことの重要性をご指摘いただきました。

引き続き、ご家庭におかれましても、お子様の体調管理等よろしくお祈りします。お子様が、「毎日楽しい！明日も絶対良い日！」と眠ることができ、お子様が頑張っていることを一緒に喜び合っていただけるととても嬉しく思います。
(校長 川埜 誠)



<大人育ち応援学習プログラム②>

子ども一人を育てるには、村丸ごとの知恵が必要である！

アフリカのことわざです。「社会全体で知恵を出し合い、子どもに関わっていかねば、健やかな子どもは育たない」ということです。少子化・核家族化が進む中での子育ては、本当に難しいです。初めての子育ては分からないことだらけです。思うようにならないこともあるかと思えます。決して子育ては、親だけで完結するのではなく、多くの人と関わり、多くの人の影響を受けながら育てていくことの必要性を表していることわざです。

～佐伯小学校で、オリンピックの想いをつなぐ・・・

「奇跡のトーチキス」が実現！！～



【1964年のトーチと東京2020のトーチについて6年生が紹介】 【5/24 3階廊下でトーチキスリレー】

佐伯小学校に、なんと！2本の「聖火トーチ」が揃いました。こんな素晴らしいことが・・・。実は5月19日・20日と岡山県にやってきていた聖火ですが、その岡山県ランナーの一人に、本校の角田教諭が選ばれており、参加してきました。また、偶然にも、本校の別の教諭のご家族が、1964年に行われた東京オリンピックに関わっておられたそうで、自宅にその時のトーチが保管されていたとのことで、学校に持参してくれたのです。そこで、写真のような2本のトーチショットが実現しました。

時を越え、2回の東京オリンピックのトーチが佐伯小学校で並んだ、この奇跡に学校中が盛り上がりました。

5月24日(月)の給食時には、6年生が全校に向けて、『6年生テレビニュース』として、「オリンピックについて」「トーチの秘密」など、調べたことを発信しました。そして、「昼休みに3階の廊下で、トーチを持つことができます。トーチキスに参加したい人は来てください。」と呼びかけました。

世界の平和と友好を願うオリンピックです。今年は全世界の人々がコロナの収束も強く願っていることでしょう。

トーチを持って、ポーズをとる子どもたちは、みんな笑顔でした。「世界の人々が、武器や暴力で戦うのではなく、スポーツで競うオリンピックや、その聖火をつなぐトーチに込められた想い」を考えるきっかけになったのではないかと思います。

～全校みんなで！クロームブック(タブレット端末)活用開始！～



【5/30 タブレットについての説明】

【教室・授業での活用】

【屋外の授業での活用】

今年度4月から、国のギガスクール構想のもと、和気町でも、児童生徒に1人1台のクロームブック(タブレット端末)が整備されました。佐伯小学校では、5月31日(月)の放送朝礼で「タブレットの活用について」や「使うときの3つの約束」(①たいせつに②ただしく③たのしく)などのルールを確認し、全校児童に配付され、活用が本格的に始まりました。

教室での各教科の授業では、インターネットにつないで必要なことを調べたり、友達と考えを共有したりしています。また、計算や漢字などのドリル学習や、キーボードでのローマ字入力練習でも活用しています。教室以外でも、体育館や運動場、校外学習では、タブレットのカメラや録画機能を使って記録したものを学習に活かしています。

これからも有効な活用方法を探りながら、児童と一緒に学習を進めていきます。

～地域の方との温かい交流・・・1・2年生 生活科～

①6月2日(水) 玉ねぎを収穫させていただきました。



学校前の畑の玉ねぎ収穫を行いました。毎年、地域の方のご厚意で畑を使わせていただいています。昨年の11月に、1・2年生が苗の植え付け体験をさせていただきました。

玉ねぎは大豊作で、丸々と大きくなった玉ねぎが畑一杯でした。今年の1年生と去年植え付けをした2年生・3年生も一緒に協力しました。

抜いても抜いてもまだまだ・・・2000個以上の収穫でした。収穫後、「佐伯小学校の皆さんでどうぞ。持って帰って、いろんな人に分けてあげてくださいね。」と言ってくださったので、学校まで何往復もして持ち帰りました。お昼の校内放送では、2年生が全校に向けて、「持って帰ってください。」とアナウンスし、4～6年生も大喜びでした。1年生は、「にこにこ園のみんなにも分けてあげたいな。」ということで、届けることにしました。

地域の方との交流や、野菜の収穫・体験を通して、様々なことを学んでいる子どもたちです。

②6月9日(水) 舟岡いこいの庭園で、植物の観察をさせていただきました。



今年も、「舟岡いこいの庭」に行かせていただきました。学校の裏手にある、地域の方(玉谷さん)が丹精込めて手入れをされている広大な庭園です。四季折々の花や果樹が栽培されており、花菖蒲(ハナショウブ)を始め、マーガレットや矢車草(ヤグルマソウ)、ゴテチャなど、今年も見事に色とりどりの花が咲き誇っていました。

子どもたちは、気に入った花を描いたり、タブレットで撮影したりしました。また、わからないことは積極的に尋ね、交流する姿がありました。実際に見て、感じて話をする・・・とても大切な学びです。

子どもたちは地域の皆さんに温かく見守られ・支えられています。ありがとうございます。

★佐伯小学校ホームページ日々更新中！

学校だよりの紙面だけでは掲載しきれない日々の子どもの学習活動や、行事等の様子は、学校ホームページに随時アップしております。「ニュース!」「ふるさと学習・情報」を是非ご覧ください。パソコンだけでなく、いつでもどこでも気軽に閲覧いただけるよう、スマートフォンや携帯電話からも見やすい画面を工夫するようにしています。

QRコード→



【和気町立佐伯小学校 で検索OK】アドレス→<http://saeki-es.wake.schoolweb.jp>